

楽しく古代を学ぶ

第7回

竜丘古墳まつり



前日までの雨模様により開催が危ぶまれましたが、当日は夏を思わせるような青空が広がり、第七回竜丘古墳まつりが盛大に開催されました。

早朝から竜丘小六年生が作った埴輪の野焼きが行われたほか、雨により前日できなかった準備作業が実行委員のみなさんにより急ピッチで進められました。

開会式では古代衣装をまとった関係者のあいさつに続いて、五月に六年生が行った「丘のまちしるべ探索」の感想発表会がありました。その後、オープニングセレモニーでは青空と古墳をバックに迫力ある鈴岡太鼓の演奏があり、いよいよ古墳まつりがスタートしました。

子どもたちの一番人気は「勾玉作り」で、工作会場はたちまち満席となり、石を削った粉でみんな真っ白になりながらオリジナルの勾玉を作りました。火おこし体験では子どもと担当の民俗資料保存委員と壮年団のみなさんが暑さ（熱さ？）の中、火おこしにチャレンジ。見事火が点いた子どもには証明書が手渡されました。富本銭レブリカ作りも人気で、考古博物館の方の指導により、金型へのスズとビスマスの合金の流し込みからバリ取り・磨きまで真剣に取り組んでいました。その他「埴輪作り体験」や古墳をサルビアの花で彩る「花の植え付け」も行われました。

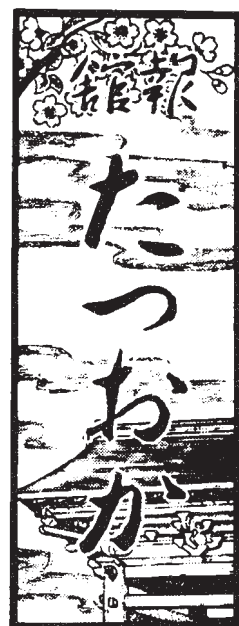
古代食コーナーで古代米のおにぎりが配られちよつと一服。古代の人々は古代米一〇〇％で食べていたそうですが、現代人にはとても食べられない味ではなく、今回は白米に古代米を二〇％混ぜたもので「おいしい」という声が聞かれました。また、古代の釜である甗（こしき）による炊飯（蒸飯）が披露されました。その後、今回が初となる「塚原古墳めぐり」が行われました。

メイン会場の塚原二子塚古墳をスタートし、鏡塚古墳、鰐塚古墳、黄金塚古墳等を竜丘古墳の会の小林さんの説明を聞きながら巡りました。竜丘には大小様々な古墳がたくさんありますが、特に塚原大地には十六の古墳があり、前方後円墳のほか円墳、帆立型古墳など形も様々であることがわかりました。また、代表的な塚原二子塚古墳はその大きさから、現在の県知事に匹敵する豪族の墓地であることが推測されるとの説明がありました。参加者の興味を惹いていました。



五月二十五日（日）午後十二時四十分より、竜丘の夏季スポーツ大会（ベタンクマスターズ）を開催しました。竜丘小学校の校庭にて開会式を行い、公民館長の挨拶や注意事項を確認した後、全員でストレッチ体操を行いました。

その後、各チームに分かれルールややり方などを、練習を交えて確認し、一斉に競技を開始しました。各地区チーム共に、和気



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,972人
男子 3,388人
女子 3,584人
世帯数 2,478戸
(26年6月末現在)

夏季スポーツフェスタ

ベタンクマスターズ

五月二十五日（日）午後十二時四十分より、竜丘の夏季スポーツ大会（ベタンクマスターズ）を開催しました。竜丘小学校の校庭にて開会式を行い、公民館長の挨拶や注意事項を確認した後、全員でストレッチ体操を行いました。

その後、各チームに分かれルールややり方などを、練習を交えて確認し、一斉に競技を開始しました。各地区チーム共に、和気



とても良かったと思います。最終結果としては、一位か。次回の大会が楽しみです。が三連覇するのでしょうか。すね。



からも、「古墳まつり」が竜丘地区全体を挙げたイベントとして、今後も発展していくことが望まれます。

竜丘民俗資料保存委員会発足四十周年記念

去る五月三十日新緑の竜丘公民館において「竜丘民俗資料保存委員会発足四十周年記念懇談会」が開催されました。

木下地域自治会長をはじめ、歴代民俗資料保存委員会館長主事等関係者多数のご出席を賜りまして式典が盛大に開催できましたことを暑くお礼申し上げます。

飯田市民俗資料保存委員会が昭和四十八年に発足し、変わ



りゆく社会の中で急速に失われてゆく有形・無形の民俗資料を収集・保存・展示する事業に長い間取り組み、引き継がれてきました。

また「丘の語部たち」につきましても、多数の皆様方のご寄稿により第五集までを出版することができました。これもひとえに、先輩の皆様方の熱い思いと努力のたまものでありまして、この尊い足跡が偲ばれ、子孫に残す宝の一つとなることでしょう。なお、この事業については平成二十二年に飯田歴研賞・奨

励賞を受賞することができました。四十年間の主な事業の概要・委員名簿・資料館の展示写真等の内容は、小冊子「竜丘民俗資料保存委員会の歩み」に収め配布いたしましたところ、四十一年の思い出あれこれに懐かしく想いを馳せておられました。

また、文化祭等に展示した「駄科の弘法様と観音様」「竜丘の石造文化財の調査」「自由画保存事業」や「上川路の地形」等を収めた記録集を発刊しました。

懇談会では、昭和二十七年頃の竜丘村記録映画や懐かしの委員会ビデオの上映もあり、テーブルスピーチも盛り上がり、委員の後継者募集を進めることや自由画等の保存継承のための資料館の建設をとのご意見もありました。皆様方から過去を偲び今後の指針をいただきありがとうございます。ごさいました。

（民俗資料保存委員長 下平久雄）

古墳まつりの準備も兼ねて、去る五月二十四日、古墳と白井川秘境遊歩道の整備作業が行われました。四十八名の参加があり、塚原二子塚・馬背塚の草刈りと白井川秘境の歩道の整備が、二時間ほど掛けて手入れされ景観が整えられました。

塚原二子塚には、御影石を使った高さ二メートル余りの標柱が立てられ、花壇や遊歩道の手入れも進み竜丘を代表する古墳として整備がまた一歩前進しました。他の古墳にも今後順次設置していく予定で、「標柱に負けないよう環境整備を続けましょう」とあいさつがありました。

古墳・遊歩道整備がすすむ



便利な生活があると元には戻れません。便利な世の中になりました。インターネットに繋がってれば、国際電話はかけ放題、行ったこともない海外の路地裏の写真まで見ることができそうです。

LINEやツイッターなどリアルタイムで情報交換ができます。テレビでさえ、インターネットに投稿した動画やツイッターの写真などを転載することもあります。実際に大規模な災害では、即時性のあるツイッターが被害の様子や災害情報を伝え活用されました。

高校生から携帯を使い始める人が多いと、中学校の卒業式が過ぎると携帯電話販売店が卒業生で混み合います。今年の新入生から、ほぼ全員がスマートフォンを持つようになったと高校の先生が話しています。入学前から同じ高校に通うであろう人同士がLINEのグループで情報交換しており、入学式で初対面でも既に知り合いであることが多いと聞きます。

LINEを使った犯罪に巻き込まれることも多く、また、個人情報や個人的な写真の流出、LINEを使いたいじめなどもあり、適切な使い方が求められています。小さなパソコンであるスマホは、日々新しい機能が追加されるため、大人でさえ使いこなすのが難しく、子どもにどう教えればいいのか悩んでいる保護者も多いのではないのでしょうか。

小さな窓は世界と繋がっているかもしれないですが、目の前には五感で楽しむ現実が広がっています。これから夏番、たまにはスマホを置いて自然と遊んでみてはいかがでしょうか。

ヤフー

便利な生活があると元には戻れません。便利な世の中になりました。インターネットに繋がってれば、国際電話はかけ放題、行ったこともない海外の路地裏の写真まで見ることができそうです。

LINEやツイッターなどリアルタイムで情報交換ができます。テレビでさえ、インターネットに投稿した動画やツイッターの写真などを転載することもあります。実際に大規模な災害では、即時性のあるツイッターが被害の様子や災害情報を伝え活用されました。

高校生から携帯を使い始める人が多いと、中学校の卒業式が過ぎると携帯電話販売店が卒業生で混み合います。今年の新入生から、ほぼ全員がスマートフォンを持つようになったと高校の先生が話しています。入学前から同じ高校に通うであろう人同士がLINEのグループで情報交換しており、入学式で初対面でも既に知り合いであることが多いと聞きます。

LINEを使った犯罪に巻き込まれることも多く、また、個人情報や個人的な写真の流出、LINEを使いたいじめなどもあり、適切な使い方が求められています。小さなパソコンであるスマホは、日々新しい機能が追加されるため、大人でさえ使いこなすのが難しく、子どもにどう教えればいいのか悩んでいる保護者も多いのではないのでしょうか。

小さな窓は世界と繋がっているかもしれないですが、目の前には五感で楽しむ現実が広がっています。これから夏番、たまにはスマホを置いて自然と遊んでみてはいかがでしょうか。

いい大人形劇フェスタ
2014

竜丘地区公演
プログラム

会場名	公演日	開演	劇 団	時間
上川路公民館	8月6日	13:00	げきだんはてな	60
竜丘公民館大ホール	8月7日	10:00	でんでんむし	25
			アトリエびっき	40
		13:30	人形劇団ピーちく	20
			ぱれっと (くらしき作陽大学)	30
時又ふれあいセンター	8月7日	18:30	人形劇団たたくファミリー	45
竜丘公民館大ホール		10:00	マイムトループ グランパルーン	40
		13:00	人形劇団紙風船	30
		15:00	人形劇団あぼ	40
竜丘公民館サークル室	8月8日	11:00	紙芝居・野に咲く花	30
		13:50	ぱねるんるん	20
			人形劇団てまちゃ	25
竜丘公民館和室大		11:00	東野人形劇あかね	25
		13:50	四つ葉のクローバー(おはなしこぼこ)	30
			かんこちゃんとかーと君	15
長野原区民センター	8月9日	10:00	人形劇じゅごん	50
竜丘公民館(桐林分館)	8月9日	13:00	人形劇団くりきんとん	40
			人形劇団おたまじゃくし	25
駄科公民館	8月10日	10:30	劇団むう	50

環境家計簿つけてみませんか

第36回 市民大学講座



環境クイズに挑戦

今年環境がテーマであったので、公民館と環境委員会の合同で行われました。最初に環境コンサルタントの中村秋男氏による「家庭の省エネ」と題した講演を聞きました。講演に先立って、九問のクイズが行われました。「日本のCO2排出量は世界で何番目(答えは五番目)などの環境に関する内容でした。興味を持つ内容であったので、参加者の方々も筆を走らせて、答えを書いていました。「家庭の省エネになぜ取組むのか」では、地球温暖化防止であったり、資源の有効活用を目的に行うことでした。温暖化のしくみを二百年前の地球と比較して、一番問題になっているのは二酸化炭素の量が多くなっている。これは、産業革命以後、人口の増加とエネルギー(化石燃料)の消費の増加が急激に増えているからだ、とグラフを参照しながら話されました。そこから温暖化が与える影響を話して頂きました。家庭におけるCO2増加の原因は、世帯数の増加、電化製品の

できることから始める
一年分のデータ収集
燃料の使用金額の収集
いつ何をやるかメモる
見える化の仕組み作り
効果の確認
周りの人に話しをする
これらが、うまく省エネを行うコツだそうです。無理してやるのではなく、楽しくやって行く事が大切です。次に環境家計簿の付け方

去る六月二十日に第三十六回市民大学講座「省エネのコツと環境家計簿」が行われ、六十四名の参加者が講師の講演に聞き入りました。

保有台数増加と大型化が挙げられます。家庭でのCO2削減(省エネ)のコツは、自分で調べて(インターネット等)自分は何ができるかをさがす。その際に、「おもしろそう」「関心がある」など、意欲がわくものを選ぶ事が重要との事でした。



モーターを使った発電にチャレンジ

恋しきかな ありがたきかな故郷

第十三回 東京竜丘会

五月十八日東京千代田区のホテル「アルカディア市ヶ谷」において、首都圏在住竜丘出身者の東京竜丘会主催で第十三回東京竜丘会の定期総会並びに懇親会が開催されました。岡村隆臣会長(桐林出身)の「健康で再会できた喜びをわちあいたい」の挨拶の後、事業計画・役員人事案などが承認されました。

総会後のセレモニーでは、桐林出身のジャーナリスト塩沢実信氏が「歌で聞く昭和」をテーマで講演録音テープで唄を再生、歌謡界の舞台裏など紹介、往時が述べられました。竜丘からは出席者を代表して木下和彦地域自治会長が、ビデオデーターを交え竜丘の近況報告と、この程策定された二〇三〇年度までの竜丘地区基本構想の概要説明がありました。また下平公民館長からは、大正デモクラ

五月十八日東京千代田区のホテル「アルカディア市ヶ谷」において、首都圏在住竜丘出身者の東京竜丘会主催で第十三回東京竜丘会の定期総会並びに懇親会が開催されました。岡村隆臣会長(桐林出身)の「健康で再会できた喜びをわちあいたい」の挨拶の後、事業計画・役員人事案などが承認されました。

総会後のセレモニーでは、桐林出身のジャーナリスト塩沢実信氏が「歌で聞く昭和」をテーマで講演録音テープで唄を再生、歌謡界の舞台裏など紹介、往時が述べられました。竜丘からは出席者を代表して木下和彦地域自治会長が、ビデオデーターを交え竜丘の近況報告と、この程策定された二〇三〇年度までの竜丘地区基本構想の概要説明がありました。また下平公民館長からは、大正デモクラ



第13回 東京竜丘会
～恋しきかな ありがたきかな故郷～

竜丘をきれいにする作戦

竜丘小学校の取組み

竜丘小学校の昨年度の六年二組では、自分たちで話し合って、チャレンジ丘の子の時間に「竜丘をきれいにする作戦」に一年間を通して取り組みました。そして、その結果を二月の参観日で発表しました。以下はその原稿の一部です。

午前中の三時間にかけて、話し合いで決まった「鈴岡公園」の清掃に出かけました。松尾との境にある公園なので、片道三十分くらいかかりました。鈴岡公園は、

時間くらい拾い続けたら、ふくろがいっぱいになっていました。帰り道をその重くなったふくろを持ちながら、がんばって歩いて帰りました。そのくらいゴミがあったことが、すごく悲しかったし、びっくりしました。

一年間、竜丘をきれいにして、竜丘には意外とゴミがいっぱいあったことがわかりました。私も、ゴミを落とさないようにしたいと思いました。けれど、自分の住んでいるところをきれいにして、とてもあたたかい気持ちになりました。(清水華那さん)



たばこの吸いがらから、大きなものでは自転車(二台)まで、ありとあらゆるゴミを拾いました。一番の拾い物は子どもたちの竜丘を愛する気持ちだと思います。(竜丘小学校 大池 満)

本が待っています

図書館へ

水曜日学校帰りの子ども達の明るい声が館内に響きわたります。図書館は本と人との出会いの場であり、人と人との出会いの場、つどい、憩いの場です。散歩のついでに図書館で一息入れるのもよいものです。読みたい本がありましたら手に取って見て下さい。

読みたい本が見つからないかったり、新聞などで読みたい本を見つけた時など、係の人に聞いて下さい。竜丘にないときは中央図書館



待っています。

開館日
水曜日十三時～十七時
土曜日十時～十七時
日曜日十三時～十七時
(竜丘分館長 前沢喜代美)

貸出ベスト3 (4月～6月)
海賊とよばれた男 上 著者: 百田尚樹
舟を編む…………… 著者: 三浦しをん
穴…………… 著者: 小山同浩子

新刊本

村上海賊の娘 上・下…著者: 和田 竜
女のいない男…………著者: 村上春樹
約束の海……………著者: 山崎豊子
満月の道……………著者: 宮本 輝
コロボックス絵本物語…著者: 有川 浩
飯田線各駅停車

雑誌

きょうの健康、文芸春秋、きょうの料理、
婦人公論、趣味の園芸、サライ、
ニュートン、エッセイ、オレンジページ